

地域おこし協力隊 沖縄サミット

沖縄県内・県外の有識者・自治体関係者・地域おこし協力隊員等による事例発表とパネルディスカッションを通し、沖縄での地域おこし協力隊の活用・導入推進や定住促進を図るとともに、37の有人離島を有する島しょ県である等の本県の特徴を活かした協力隊活用のあり方を模索するため、『地域おこし協力隊 沖縄サミット』を開催します。

2022.
2.25(金)
13:30~16:30

○会場開催とオンライン配信を併用

※新型コロナウイルス感染拡大防止に係る沖縄県対処方針に則り開催。感染急拡大時にはオンライン配信のみに切り替える場合があります

【会場】沖縄県南部合同庁舎5階会議室(沖縄県那覇市旭町116-37 /ゆいレール旭橋駅徒歩2分)

【対象】全国の地域おこし協力隊員／OB・OG、自治体職員、地域づくり団体・関係者等、その他、地域おこし協力隊や地域づくりに興味・関心のある方

【参加費】無料

	時間	内容
第1部	13:30	開会 (開場13:15~)
	13:35	沖縄県の地域おこし協力隊の概要
	13:40~14:25	県内登壇者発表 ①県内協力隊 ②県内協力隊OB ③県内自治体担当者
第2部	14:35~15:35	県外登壇者発表 ①県外協力隊OB ②県外自治体担当者 ③有識者
	15:35~16:20	パネルディスカッション ○テーマ「沖縄の地域おこし協力隊 “これまで”と“これから”」
		16:30

【参加方法】①会場参加希望の場合:沖縄県公式移住応援サイト『おきなわ島ぐらし』内「協力隊沖縄サミット」ページより申込

※締切2/17(木)12時まで 申込多数の場合は抽選(定員50名) URL: <https://okinawa-iju.jp/news/10078/>

②オンライン配信視聴の場合は申込不要(配信URLは後日、上記「協力隊沖縄サミット」ページに掲載)

【主催】沖縄県地域・離島課 【お問い合わせ】担当:吉里/叶/松井

TEL:098-866-2370 e-mail:aa017035@pref.okinawa.lg.jp

(協力隊沖縄サミットページ

QRコード)



【登壇者プロフィール】



稲垣 文彦

(いながき ふみひろ)

NPO法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長、
博士(工学)

1967年、新潟県長岡市生まれ。明治大学商学部卒業、長岡技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了。専門は災害復興と地域づくり。外部人材を活用した新たな内発的発展論を展開し、地域づくりにおける住民の主体形成プロセスを研究。国の地域おこし協力隊、集落支援員、関係人口の施策等の普及、人材育成等に尽力。

他に総務省地域力創造アドバイザー、地域おこし協力隊サポートデスクスーパーバイザー、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部令和3年度関係人口創出・拡大のための対流促進事業選定委員会委員、(公社)中越防災安全推進機構理事等。

主な著書として「震災復興が語る農山村再生 地域づくりの本質(2014) commons」等。表彰等 International Society for Integrated Disaster Risk Management Norio Okada Implementation Science Award for year 2021。



後藤 雅人

(ごとう まさと)

大分県・竹田市役所
商工観光課 主査

大分県竹田市出身。大学卒業後、地元である竹田市役所に就職。税務課を経て、平成24年4月から農村回帰推進室に配属、移住・定住の担当となる。これまで6年間で400名の移住を実現。さらに、当時全国最多規模(50名)の地域おこし協力隊の起業相談や定住サポートも担当した。

<竹田市の取組紹介映像>○竹田市で受け入れた地域ベンチャー 留学OGOBの紹介 <https://youtu.be/yfLx7c1GI-k>

○大分県竹田市の中間支援機能の紹介 https://youtu.be/_gvbfof8Gn0



藤井 裕也

(ふじい ひろや)

岡山県・美作市地域おこし協力隊
OB、NPO法人山村エンタープライズ代表、総務省・地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員

2011年より岡山県美作市地域おこし協力隊として上山地区での棚田再生に携わる。2012年4月より岡山県の北端、人口700人の美作市梶並集落に移住し地域づくりに取り組む。

地域おこし協力隊期間中、単身者向けのシェアハウス「山村シェアハウス」を開設。任期満了後、協力隊卒業生で法人を設立し、農山村での不登校ひきこもり状態の若者の自立支援事業と移住促進を行う「人おこし事業」を事業化運営。

総務省地域おこし協力隊のサポートデスクの専門相談員として全国の隊員の相談を受ける。(一社)岡山県地域おこし協力隊ネットワーク代表であり、全国の地域おこし協力隊が行う事業の専門的アドバイス及び、協力隊事業の企画運営を行う。地域制度、観光、教育、福祉の分野で、事業の立ち上げ運営や、人材育成、仕組みづくりを手がける。



古堅 宗治

(ふるげん むねはる)

沖縄県・久米島町
企画財政課課長

<職歴> 平成7年4月 久米島町役場採用。経済課、住民課、沖縄県介護保険広域連合出向、福祉課、沖縄県離島医療組合出向、公益社団法人地域医療振興協会出向、総務課。平成30年4月企画財政課企画班班長。令和3年7月企画財政課長 現在に至る

<地域おこし協力隊との関わり> 平成30年4月企画財政課への異動により地域おこし協力隊の総括を担当。令和3年7月久米島町地域おこし協力隊隊長兼総括



石坂 達

(いしざか とおる)

沖縄県・久米島町地域おこし協力隊(島ぐらしコンシェルジュ)OB、
合同会社PLUCK代表

埼玉県朝霞市出身。東京農工大学農学部卒業後、ITメガベンチャーにて、教育・評価システムを中心に、ERPパッケージソフトの導入・保守コンサルタントとして勤務。2012年10月、隠岐の島・海士町へ移住・転職し、地域づくり・教育事業コーディネーターとして働く。

地方創生の挑戦事例である海士町で学んだことを他の地域で活かしたいと思い、2016年5月、沖縄県久米島町に移住。移住定住をミッションとする地域おこし協力隊として従事後、合同会社PLUCKを起業。自治体コンサルタント・プロジェクトマネージャーとして様々な行政案件を受託・企画運営しながら、アウトドアやデジタルなど様々な事業を組み合わせた「複業型身の丈起業」に取り組む。また「久米島複業ギルド」を運営し、地域の自治力向上と経済循環の改善を目指している。

ソシオデザイン客員研究員・(株)Public dots & Companyパートナー・沖縄県DXアドバイザー・日本ワーケーション協会公認ワーケーションコンシェルジュ



鄭 彰彦

(てい あきひこ)

沖縄県・竹富町(西表島)
地域おこし協力隊

1985年 埼玉県越谷市生まれ。明治大学卒業後、松下電工(現:パナソニック)に入社。松下グループ本拠地の大阪でセールスとして活躍し、11年間で累計68億円の受注販売実績を上げて退職。「チャレンジングな人生」を送るために挑戦する舞台となる場を探す。

旅で訪れて以来惹かれ続けた上、世界自然遺産登録による環境変化が見込まれていた西表島に、2019年4月より「地域おこし協力隊」として移住。

22年3月末の任期満了後は西表島初の空手道場の開設や、心理カウンセラーとして教育事業への参画・講演会定期開催を予定。